スキル名 SL コスト タイミング 射程 制限 メモ ||=キャラクター名||||| ┌ プレイヤー名 -対象 判定 \_\_\_ ワーディング 視界  $\star$ オート シーン 白動 赤塚 智世 (あかつか ちせ 効果: 非オーヴァードのエキストラ化 オルクス リザレクト 0 | 1d10 気絶時 \_ 自身 自動 ↓100 ワークス 高校生 カヴァー 高校生 シンドローム <u>\_\_\_</u> ブラム=ストーカー 効果: コスト分のHPで復活 16 年齢 性別 女の子 オプショナル 2 コンセ(オルクス 2 め 効果: C-Lv 覚醒 感染 衝動 恐怖 初期侵食率 31 2 赤き弾 4 め 出自 天涯孤独 永劫の別れ 恩人 経験 獬诟 効果: Lv\*2 HP2消費 アニマルテイマー 3 3 め シ 基本値 「ワークス」ボーナス 成長 他修正 能力値 HP 26 効果: Lv+1 判定ダイス 0 2 8 1 行動値 肉体 形なき剣 1 2 め 3 0 0 3 8 (非装備時) 感覚 効果: Lv-ドッチ判定 2 13 精神 0 0 2 戦闘移動 完全なる世界 3 5 シ 100 2 26 社会 0 0 全力移動 効果: Lv+1 判定ダイス Lv\*3攻撃力 3 肉体 感覚 精神 社会 妖精の手 4 お SL 修正 SL 修正 SL|修正 SL 修正 効果: 出目を10に 技能 技能 技能 技能 白兵 射撃 9 2 交渉 2 Ŋ R C 妖精の輪 4 お 1 回避 1 知覚 意志 調達 4 効果: 運転: 芸術: 知識: 情報:噂話 1 猫の道  $\star$ 運転: 芸術: 情報: 効果: 知識: ブラッドリーリング  $\star$ 運転: 芸術: 知識: 情報: 運転: 芸術: 知識: 情報: 効果: 運転: 芸術: 知識: 情報: 効果: 能力 命中値 G値 攻撃力 射程 メモ 武器・コンボ ショットガン(スラッグ) 05 効果: 効果: 防具 価格 装甲 回避 行動 メモ 効果: 昔から私は人よりも多くのものが聞こえていた。 たまに見えることもあったが、それは人のような姿をしていたり化け物だったりしていた。私には霊感みたいなものがあった。 めい頃に変な子と周りから見られたりもした。母さんは私のそういうところを知りながら理解しようとして優しく接してくれていた。でも父さんは、違った。 合計装甲: 0 合計回避: 0 私がそういうとすぐに暴言罵倒し、母さんの居ないところで 所持品 あげく手をあげることもあった。 ショットガン(スラッグ) 母さんはこの事を知らない。母さんの前では、父さんはいい人だったから。 ロイス 小学校から中学に上がってすぐ私は、 感情(pos) 感情(neg) タブ 消費 ウェポンケース 象忟 変視病にかかって少しの間入院した。 内容は、周りが真っ赤に見えるというもの。まるで世界が血で染め上げられたように真っ赤で私は少し綺麗だと思うこともあったが二週間程度で退院して治った 思い出の一品 賢者の石 J.D. (支部長) P 信頼 N 恐怖 また出る可能性はあるらしい。 退院して父さんと2人っきりの日に 立科 沙紀 P 大切 N 不安 事件は起きた。 また、何か声が聞こえた。 『あなたは特別なのよ。あぁ特別だとも。 N |俺たちの、私たちの声が聞こえる特別だ。』『アイツはそんな特別に大事なものに傷をつけるわるーいやつだソーダソーダ』いつもとは違う。複数の混じった者 の声。気持ち悪くて耳を塞いだ。私は N 『いやだ聞きたくない言わないで特別じゃない!!』と叫んでしまった。 N 父さんがそれに苛立ち、思いっきり 顔を殴った。そして口を切って出た血が 父さんの手に触れた瞬間だった。 最大財産P: 12 残り財産P: 急に目の焦点が合わなくなり、